

令和4年5月 第2回定例庁議

- 1 開催日時 令和4年5月16日（月）午前9時30分～午前10時30分
- 2 開催場所 4階特別会議室
- 3 付議事項（第6条）

(1) 指示事項（市長の指示、注意等）

先日の丸亀お城まつりは天気も良く、予想以上の来場をいただいた。事故もなく、多くの市民から大成功であったと好評を得ている。従事された職員の皆さんはお疲れ様でした。

6月議会が始まるので、各部署での対応について準備をお願いします。

5月、6月は心の病が多い時期なので、職場で互いに気配りしていただくとともに、事故も起こりやすくなるので注意をお願いします。

5月11日より新教育長として末澤氏が就任しているので紹介する。

（末澤教育長あいさつ）

(2) 審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

①空家等対策計画（改定案）について（都市整備部長）

最終案について取りまとめたので確認をお願いします。

（資料に基づき説明＝都市整備部都市計画課副課長）

- ・庁内での事務手続や議会への説明などの経緯を計画書に記載すること。（副市長）

(3) 報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

①カーボンニュートラルの実現に向けた取組について（市民生活部長）

市のカーボンニュートラル実現に向けた現在の取組状況と今後の取組について報告する。庁内での推進本部の設置に向けて生活環境課で準備しており、全庁的な取組として進めていきたいので協力をお願いします。

（資料に基づき説明＝市民生活部生活環境課長）

4 その他

①eモニター制度の導入について（市長公室長）

昨年度の自治基本条例の見直しの中で、市民参画の促進ではアンケートに関して、時間と場所を選ばない手法やデジタルなどの新たな参画方法を検討するよう自治推進委員会より提言があった。これを受け、令和4年度からeモニターを導入することとしており、いわゆるこれまでの市民アンケートのようなハードルの高いものではなく、もっと手軽に市民の意識を調査したい場合などに活用していただけるものと考えているので、各部において検討をお願いします。

（資料に基づき説明＝市長公室秘書政策課）

- ・eモニターは年度ごとに変えた方が良いと思うが、登録した方の期限は設けるのか。
民間でもよくある取組だが、近隣で実施している自治体はあるか（副市長）
→年度末までと考えているが、再登録を可能とし、応募状況などを見ながら検討する。
県内市町で実施している自治体はないが、他県での例はある。
- ・今後各課に意向調査を行うこととしている。随時秘書政策課まで相談していただきたい。（秘書政策課長）

②ドローン実用化に向けた進捗状況について（市長公室長）

これまでの検討状況について報告する。担当課については、今後講習等も予定している所以協力をお願いする。

（資料に基づき説明＝市長公室秘書政策課）

- ・機体登録や飛行許可以外に法的にクリアしておくべきことはないか。例えば、ドローンによる映像や画像は巷でも多く溢れているが、写っている民家などは全て許可を取っているのか。実際の運用の際に必要な手続きは整理しておくこと。（副市長）
→離発着場所の使用許可のほか、音が出るため近隣住民への周知が必要な場合がある。
必要な対応について、ドローン安全協議会からの指導を仰ぎながら進めていく。
- ・石垣修復状況の撮影は、工事の立ち入り禁止区域で実施している。（教育部長）
- ・事故があった場合の保険はどうか。（市民生活部長）
→加入する。

③チャレンジデー2022への参加について（市民生活部長）

今年度の開催は5月25日（水）で、岐阜県の関市が対戦相手となっている。市内の各地域でイベントが実施される予定であり、市の方では、毎月1日の一斉清掃について、6月分を繰り上げて実施するので職員の積極的な参加をお願いする。各部総務担当課で部内の参加者数を取りまとめ、当日の午後5時までにスポーツ推進課へ報告をお願いする。

④プロ野球ウエスタン・リーグ公式戦の運營業務応援について（市民生活部長）

7月30日（土）、31日（日）の両日、対戦カードは阪神対広島で、コロナの影響もあって3年ぶりに開催する。運営に万全を期すため、応援職員を依頼するので協力をお願いする。

⑤全国高校総体開催に伴う応援職員について（市民生活部長）

先日、香川県の実行委員会より有観客での実施が発表され、丸亀市ではバスケットボールなど4競技が予定されている。大会運営に万全を期すため、応援職員を依頼するので協力をお願いする。

⑥瀬戸内国際芸術祭2022のピンバッジについて（産業文化部長）

PR用のピンバッジを配布するので活用していただきたい。

⑦丸亀お城まつりのお礼について（産業文化部長）

イベント運営に協力いただきお礼申し上げる。両日それぞれ7万2千人、計14万

4千人の来場者があり、2019年と比較すると53.5%という結果となった。半分程度の減少となったが、一定のにぎわいを創出できたと感じている。

夏の婆娑羅まつりについては、実施する場合は8月20(土)一日のみを予定しており、5月26日のイベント実行委員会で開催するかどうかについての方向性が決まる予定となっている。

⑧旧丸亀市政100周年記念イメージソング「城のある町」について(市長公室長)

先日、さだまさしさん作詞作曲の「城のある町」を動画にされた方の来庁があった。故郷を思い出すような良い歌詞で、市長の意向もあり、以前のように夕刻の閉庁時に流すこととする。曲が流れるのに合わせて時間外勤務の抑制などにもつなげていただきたい。丸亀城石垣修復のPR館でも動画を流すこととしている。

⑨早明浦ダムの貯水率について(市長公室長)

5月16日現在で55%と若干は増えているが、例年に比べて40%ほど少ないので、引き続き節水の協力をお願いします。

5 副市長から

冒頭市長からもあったとおり、6月定例会の準備を滞りなくお願いします。当初予算の議決をいただいて間もないため、補正予算については国の制度に伴うものなど以外はないと思うが、コロナ関連の臨時交付金事業について、各部局での検討をお願いしているところである。これまでも様々なコロナ対策を講じてきており、新しい取組は難しいと思うが、政策部局を中心に協議をお願いします。

6 教育長から

学校におけるコロナの感染状況については依然厳しい状況が続いているが、5月10日で市内中学校7校全ての修学旅行を無事終えることができた。学校行事は教育的意義が大きいと、準備・運営に万全な感染防止対策を講じるよう校長会でも周知しながら、できるだけ実施できるよう進めている。

7 モーターボート競走事業管理者から

10連休のゴールデンウィーク中は、1日だけ機器の点検で休場し、残り9日について、7日をレース開催、場外発売を2日実施した。来場者は平均2,300人程度で昨年より2割アップ、売上は約49億円、1日平均7億円で、昨年と比較すると大幅の増加となった。前回の庁議でもお願いしたが、職員にも大勢来場いただきお礼申し上げる。コロナの状況は依然不透明であるが、今後ROKU来賓棟について、できるだけ早い時期に開放したいと考えている。本場の会議室も含めて、まずは施設を見ていただきたいと考えているので各部において活用をお願いしたい。

8 出席状況

(1) 庁議構成者(第5条)

職	氏名	出欠
---	----	----

市長	松永 恭二	○
副市長	横田 拓也	○
教育長	末澤 康彦	○
モーターボート 競走事業管理者	大林 諭	○
市長公室長	山地 幸夫	○
総務部長	栗山 佳子	○
健康福祉部長	奥村 登士美	○
市民生活部長	田中 壽紀	○
都市整備部長	伊藤 秀俊	○
産業文化部長	林 裕司	○
ボートレース 事業局次長	富士川 貴	○
教育部長	七座 武史	○
消防長	浪指 孝章	○
議会事務局長	渡辺 研介	○

(2) 関係職員（第9条）

市長公室職員課長	徳 田 寛
総務部財政課長	宮 西 浩 二
市民生活部生活環境課長	松 岡 慎 司
都市整備部都市計画課長	真 鍋 裕 章
都市整備部都市計画課副課長	平 池 直 樹

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長	窪 田 徹 也
市長公室秘書政策課政策マネジメント室長	高 倉 鋭 悟
市長公室秘書政策課政策マネジメント室総括担当長	宇 野 大志郎
市長公室秘書政策課主任	大 川 智
市長公室秘書政策課副主任	安 藤 悠 子